

## スリランカの漁村から

### 平和をつくり出す人々



2004年の大津波や26年におよんだ内戦の終結などを経て、今、人々はどんな課題をかかえ、どのように乗り越えようとしているのでしょうか？

日本以上に多文化、多宗教のスリランカで、人々が自信をつけ貧困を克服し、立場が異なる人たちの間で理解と協働を生み出そうと取り組んでいる二人がやってきます。

マスコミやネットからでは伝わってこない人びとの声に聴いてみませんか？

#### 報告会日程

※日本語通訳あり

2019年 **12月7日** (土) 15:00~17:00

**会場:東京YWCA**

千代田区神田駿河台1丁目8-11

**協力:公益財団法人東京YWCA**

**平和と正義委員会**

東京YWCA「Christmas for Peace 2019」のプログラムの一環です。

**入場無料**

#### 申込方法

右のQRコード、もしくはメールや電話でお申込みください。その際、お名前と参加希望日時(開催場所)をお知らせください。



本事業は、一般財団法人大竹財団の助成金を受けて実施しています。



#### 講師 フランシス・プリヤンカラ

住民の参加と意思に基づく地方自治をテーマとしたNGO「スリランカ全国漁民連合(NAFSO)」のシニアスタッフ。内戦終了後のスリランカにおける和解のための人づくり・ワークショップ等を進めてきた。

2019年4月の同時爆発事件以降の平和の取り組みも始めている。

#### 講師 スランジ・ワサナ

ハンウエラ女性組合の創立者。生計向上活動、行政と連携した住宅建設プログラムを実施。共助のため子どもグループ活動も始めた。NAFSOの研修によって、リーダーとなり、それが実施する全国の漁民の権利を守る運動に協力している。



#### 講師の活動拠点「ニゴンボ」

スリランカの西海岸に位置する漁業が盛んな都市。人口は約13万人。2019年4月の事件では、教会が爆破され、少数派キリスト教徒100名以上が犠牲になった。